

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	茂木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単独事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	須藤地区まちづくり推進事業	総事業費	75,594	75,180	380,000	380,000	380,000	1,290,774
		うち市町支出額	75,594	75,180	380,000	380,000	380,000	1,290,774
		うち県交付金	37,797	37,590	190,000			265,387
2	ふるさとヒーロー応援事業	総事業費	604,514	602,893	600,000	600,000	600,000	3,007,407
		うち市町支出額	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	3,000,000
		うち県交付金	300,000	300,000	300,000			900,000
3	焼森山ミツマタ群生地を活用した地域振興事業	総事業費	665,698	607,602	200,000	200,000	200,000	1,873,300
		うち市町支出額	600,000	600,000	200,000	200,000	200,000	1,800,000
		うち県交付金	300,000	300,000	100,000			700,000
4	茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業	総事業費	500,072	514,806	500,000	500,000	500,000	2,514,878
		うち市町支出額	250,000	250,000	250,000			750,000
		うち県交付金	125,000	125,000	125,000			375,000
5	ラーメンフェスタ in もてぎ	総事業費		3,000,060	2,000,000	2,000,000	3,000,000	10,000,060
		うち市町支出額		3,000,000	2,000,000	2,000,000	3,000,000	10,000,000
		うち県交付金		1,500,000	1,000,000	500,000		3,000,000
6	もてぎ里山ウォーク大会開催事業	総事業費		3,166,707	3,500,000	3,500,000	3,500,000	13,666,707
		うち市町支出額		981,096	1,500,000	1,500,000	1,350,000	5,331,096
		うち県交付金		490,548	750,000	750,000		1,990,548
市町計	総事業費	1,845,878	7,967,248	7,180,000	7,180,000	8,180,000	32,353,126	
	うち市町支出額	1,525,594	5,506,276	4,930,000	4,680,000	5,530,000	22,171,870	
	うち県交付金	762,797	2,753,138	2,465,000	1,250,000	0	7,230,935	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	須藤地区まちづくり推進事業
事業主体の名称	須藤地区まちづくり推進委員会
代表者の名称	会長 小森 紀男
事業主体の所在	茂木町大字茂木155
事業主体の概要	<p>・団体の目的:須藤地区の「長安寺」を会場に、地域の伝統行事として約20年に渡り開催されている「ふるさとコンサートin九石山」を主力事業に、地域の将来を担う子供たちの活躍の場や、地域住民が交流できる機会を設けることで、世代間交流の推進、地域全体の活性化を目的とする。</p> <p>・設立年月日:令和3年4月1日</p> <p>・構成員等:20名(須藤小学校保護者、地域住民、教員、町職員等)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・茂木町は、清流那珂川や世界的サーキット場「モビリティリゾートもてぎ」等、観光資源に恵まれているが、近年人口減少・高齢化が深刻になっており、特に若い世代の町外への転出が抑えられず、地域コミュニティの維持が困難になっている。</p> <p>・少子高齢化や地域全体の人口減少により、地区の伝統文化や行事を存続することが課題となっており、地域の子供たちがふるさとの温もりを感じながら、将来、ふるさどに戻ってきたいと思えるような地域教育、地域コミュニティの確立が必要である。</p> <p>・須藤地区は町内でも児童生徒数が少なく、中学校の統合等により、学校以外での子供達の活躍の場や、地域住民の交流・憩いの場の整備が求められている。</p>
事業目的	<p>・地域住民との交流や地域の文化や歴史に触れる機会を通して、子どもたちの郷土愛の醸成を図る。</p> <p>・子供たちがメインの地域に根差した行事・交流を通じ、世代間交流の推進、地域全体の活性化を目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>・ふるさとコンサートin九石山の実施 打ち合わせ会議 7~8月 ゲスト選定 8~9月 学校との打ち合わせ会議 8~9月 コンサートの開催 10月上旬</p> <p>・地域交流事業の開催の検討 1. 星とホテル鑑賞会 6月 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 10~11月 3. 小学校と連携した地域交流事業 10月~11月</p> <p>少子高齢化が進む中、地域の子供たちや高齢者を中心とした世代間交流行事を通して、地域全体の活性化を推進することを目的としており、参加者は地域の子供たち、高齢者、学校、保護者を含む地域住民を想定している。地域交流事業については、令和3年の計画当初からコロナの影響で1度もイベントの実施ができなかったため、令和5年度は関係機関等と連携し実施できるようにしたい。</p> <p>また、ふるさとコンサートについては年々、町外からのお客様が増えているが、コロナ禍の過去3年間は、町外への発信・外部からの集客が難しい状況だった。令和5年度は、新聞等への情報掲載や、FaceBookをはじめとしたSNSでの情報発信、さらには町ホームページ、観光協会の公式LINE、ゆるもメール等を上手に活用しながら、町外からの新規のお客様を増やすことにより、コンサートを切り口に本町を知っていただく人を増やしていき、茂木町のファン獲得を行ってきたい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる</p> <p>数値目標:今後も町に住み続けたい町民の割合 70%(令和6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<p>・ふるさとコンサートin九石山</p> <p>・地域交流事業の開催 1. 星とホテル鑑賞会 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 3. 小学校と連携した地域交流事業</p>	<p>・ふるさとコンサートin九石山</p> <p>・地域交流事業の開催 1. 星とホテル鑑賞会 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 3. 小学校と連携した地域交流事業</p>	<p>・ふるさとコンサートin九石山</p> <p>・地域交流事業の開催 1. 星とホテル鑑賞会 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 3. 小学校と連携した地域交流事業</p>		<p>・ふるさとコンサートin九石山</p> <p>・地域交流事業の開催 1. 星とホテル鑑賞会 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 3. 小学校と連携した地域交流事業</p>
事業費	75,594	75,180	380,000	530,774	380,000
市町支出金(ソフト事業分)	75,594	75,180	380,000	530,774	380,000
うち県交付金	37,797	37,590	190,000	265,387	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	須藤地区まちづくり推進事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	380,000	茂木町より
計	380,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
謝金	210,000	210,000	105,000	0	・ふるさとコンサート演者 100,000 ・ホタル鑑賞会講師、会場使用 御礼 50,000 ・せんぼんの家交流会演者 30,000 ・小学校交流会講話講師 30,000
使用料	90,000	90,000	45,000	0	・ふるさとコンサート来客送迎用 バス借上料 90,000
消耗品費	80,000	80,000	40,000	0	・ふるさとコンサート消耗品 10,000 ※プログラム用紙代等 ・ふるさとコンサート児童記念品 20,000 ※道の駅もてぎアイス券等 ・ホタル鑑賞会 10,000 ※レクレーションお菓子代や景 品 ・せんぼんの家交流会 20,000 ※盆踊り用の飾りや花火代 ・小学校交流会 20,000 ※レクレーション用品や賞状代
計	380,000	380,000	190,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	ふるさとヒーロー応援事業
事業主体の名称	茂木町スポーツ協会
代表者の名称	会長 横堀 慶幸
事業主体の所在	茂木町大字小井戸2664-1

事業主体の概要

- ・団体の目的:茂木町内における体育運動を振興し、町民の体力向上を図り、明朗で健康な精神を養うことで体育団体の育成を図ることを目的とする。
- ・設立年月日:昭和58年4月1日
- ・構成員等:26名(町内スポーツ団体代表者等)

当該事業に係る地域の現状と課題

- ・茂木町は、清流那珂川や世界的サーキット場「モビリティリゾートもてぎ」等、観光資源に恵まれているが、近年人口減少・高齢化が深刻になっており、特に若い世代の町外への転出が抑えられず、地域コミュニティの維持が困難になっている。
- ・そんな中、本町出身の森俊貴選手が栃木SCに加入したことに伴い、サッカーを通じて地域スポーツの振興などを図るため、令和3年4月8日に「地域支援パートナーシップ協定」を締結した。
- ・地元出身のスターが地元チームに所属している今、子どもたちの郷土愛の醸成を行い人口流出を抑え地域コミュニティを維持していくために、スポーツを起爆剤とした振興施策を講じる必要がある。

事業目的

- ・スポーツを起点としたイベント行い、観光客誘致と関係人口の創出を図る。
- ・試合前後にスタジアム内のオーロラビジョンで茂木町のPR動画を放映したり、来場者全員を対象とし地元特産品が当たる抽選会を実施することにより、本町への来町のきっかけをつくる。
- ・地元出身のスターと共に事業を行うことにより、子どもたちのスポーツへの関心を高め、郷土愛の醸成を図る。

事業概要

【関係人口定義及び分類: I-d】

【令和5年度】

<栃木SC茂木町民デーの開催>

開催予定:6月24日(土)午後6時キックオフ VSLノファ山口FC

開催場所:カンセキスタジアムとちぎ(宇都宮市西川田)

内 容:6月24日(土)栃木SC VS レノファ山口FCを茂木町民デーとし、会場での楽しみプレゼント会を通じて茂木町のPR及び町民の無料招待を行う。

- ・無料チケット対象:茂木町在住・在学 500名
- ・抽選会:イベントエリアにて、サッカー観戦に来た約2,000名の町外者に、茂木町産のパームクーヘンや柚子塩だれなど特産品等が当たる「楽しみプレゼント会」を実施する。
- ・特産品販売:茂木町特産品の販売
- ・町PR:ピッチでの町長あいさつ及び町マスコットキャラクター「ゆずも」によるPRを行う。
- ・サッカー観戦に訪れる約5,000人の町外の観戦者に対し、オーロラビジョンによる町PRCMを放送し、茂木町の良さを映像で感じてもらう。
- また、会場で「ふるさと納税チラシ」と「道の駅もてぎふるさとギフトカタログ」を配布し、茂木町に関心を持ってもらい関係人口の増加を図る。
- ・今年度は初めて、グリーンスタジアムよりも収容人数の多い、カンセキスタジアムとちぎで開催する。より多くの来場者に向け、茂木町のPRを行うことで、新規の観光来町者・移住定住者の更なる増加を目指す。

【令和6年度】

- ・スポーツを通じた更なる郷土愛の醸成に繋がるイベント開催を検討する。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

基本目標:安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる
 数値目標:観光入込客数(H30)3,175,472人/年 →(R6)3,500,000人/年
 基本目標:安心して移住・定住することのできる「まち」をつくる
 数値目標:関係人口数(H30)2,256/年 →(R6)3,250人/年

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	栃木SC茂木町民デーの開催	栃木SC茂木町民デーの開催	栃木SC茂木町民デーの開催		栃木SC茂木町民デーの開催
事業費	604,514	602,893	600,000	1,807,407	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	600,000	600,000	600,000	1,800,000	600,000
うち県交付金	300,000	300,000	300,000	900,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,514	2,893	0	7,407	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ふるさとヒーロー応援事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	600,000	茂木町より
計	600,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	399,400	399,400	199,700	0	・お楽しみプレゼント会賞品(茂木町特産品等)367,000円 ・来場者用ノベルティ(バッジ)108円×300個=32,400円
消耗品費	141,600	141,600	70,800	0	・のぼり旗1,450円×60枚=87,000円 ・スタッフ用帽子2,200円×13個=28,600円 ・スタッフ用ホロジャツ2,000円×13着=26,000円
使用料	44,000	44,000	22,000	0	・テント 9,900円×2張=19,800円 ・三方幕 2,200円×2幕=4,400円 ・机 900円×11台=9,900円 ・椅子 400円×11脚=4,400円 ・テント錘 550円×10個=5,500円(すべてレンタル料)
保険料	15,000	15,000	7,500	0	・参加者保険料 30円×500名
				0	
				0	
計	600,000	600,000	300,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名 **茂木町**

事業名 **焼森山ミツマタ群生地を活用した地域振興事業**

事業主体の名称 **焼森山ミツマタ保全協議会**

代表者の名称 **会長 谷中裕一**

事業主体の所在 **茂木町大字茂木155**

事業主体の概要

- ・団体の目的
茂木町南部に位置する焼森山周辺に群生するミツマタ等の生育保全・整備事業を通じて、里山林の素晴らしさを継承するとともに、新しい茂木町の観光資源として活用できることを目的とする。
- ・設立年月日:平成28年12月21日
- ・構成員等:16名

当該事業に係る地域の現状と課題

- ・茂木町は、清流那珂川や世界的サーキット場「モビリティリゾートもてぎ」等、観光資源に恵まれているが、近年人口減少・高齢化が深刻になっており、特に若い世代の町外への転出が抑えられず、地域コミュニティの維持が困難になっている。
- ・茂木町南部の旧逆川村の焼森山周辺に群生する「ミツマタ」は、戦時中に紙不足を危惧した地域住民により植栽されたものだが、戦後忘れ去られ、平成17年の町有林間伐の際に発見された。その後、間伐による採光でミツマタの生育環境が好転し見事な群生地となったことから、これを新たな地域資源として観光誘客につなげるため、地域住民らが遊歩道整備やシーズン時の案内等を実施しているが、近年観光客の急増により、シャトルバスや巡視員の手配、駐車場や遊歩道の整備が必須となっている。
- ・観光客のリピーターを確保し、逆川地区の振興を図るため、シャトルバス運行や簡易トイレの整備など受入態勢強化の必要がある。

事業目的

- ・ミツマタ群生における観光客の受け入れ態勢を強化し、リピーター確保に繋げる。
- ・地元観光資源を利用した地域振興によって、地元コミュニティ力の醸成を図る。

事業概要

【関係人口定義及び分類: I - d】
【令和4年度】
 <役員会> 9月下旬
 <全体会> 1月中旬
 <オープン準備会> 2月中旬
 <安全祈願祭> 3月6日(土)開催予定
 <オープン準備>3月上旬
 ・遊歩道・駐車場整備
 ・案内看板設置
 <ミツマタ群生地オープン>3月中旬から3月31日まで(本交付金対象事業)
 ・ミツマタ鑑賞ツアー開催
 ・ミツマタ群生地巡視・管理

・観光客の増加により駐車場や経路の混雑が予想されることから、案内板の設置や巡視員の配置、仮設トイレの設置により観光客がストレスなくミツマタ群生地を観光できるようにする。

3月中旬から4月上旬にかけてミツマタ群生地に訪れる現在約8,000人のお客様をさらに増やすため、モデルルートを紹介する動画をSNSで配信するほか、周遊ルート案内折り込みチラシ配布(茨城県方面)、NaviTabiアプリによる周遊ルート設置(ロゲイニング)を行うなど近隣の観光コンテンツに誘導し、地域経済の底上げを行う。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

基本目標:安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる
 数値目標:観光入込客数(R2)2,220,000人/年 →(R6)3,500,000人/年
 数値目標:ミツマタ群生地入場者数(R2)11,652人/年 →(R6)17,000人/年

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

事業内容	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	事業費	市町支出金(ソフト事業分)	うち県交付金	事業費	市町支出金(ソフト事業分)	うち県交付金	事業費	市町支出金(ソフト事業分)	うち県交付金
焼森山ミツマタ群生地を活用した地域振興事業	665,698	600,000	300,000	607,602	600,000	300,000	200,000	200,000	100,000
事業費	1,473,300	1,400,000	700,000	0	0	0	73,300	0	0
市町支出金(ソフト事業分)	600,000	600,000	300,000	600,000	600,000	300,000	200,000	200,000	100,000
うち県交付金	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	100,000	100,000	100,000
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他自主財源等	65,698	7,602	0	7,602	0	0	73,300	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	焼森山ミツマタ群生地を利用した地域振興事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	200,000	茂木町より
計	200,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	27,500	27,500	13,750	0	案内用ステ看 5,500 x 5本
印刷製本費	82,500	82,500	41,250	0	パンフレット印刷 82,500.-
使用料	66,000	66,000	33,000	0	仮設トイレ使用料 33,000 x 2基
手数料	24,000	24,000	12,000	0	汲み取り手数料 24,000.-
				0	
				0	
				0	
計	200,000	200,000	100,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業
事業主体の名称	NPO法人みんなのカタチ
代表者の名称	栗田しのぶ
事業主体の所在	茂木町大字北高岡44
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 広く一般に対して、自然体験等を通じた体験教育活動に関する事業を行い、自然の中でのびのびと自己肯定感を高めることがひとの「こころ」と「からだ」の成長に必要であると広く伝えていくことを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 令和3年4月12日</p> <p>・構成員等: 10名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・茂木町は、清流那珂川や世界的サーキット場「モビリティリゾートもてぎ」等、観光資源に恵まれているが、近年人口減少・高齢化が深刻になっており、特に若い世代の町外への転出が抑えられず、地域コミュニティの維持が困難になっている。</p> <p>・茂木町の最大の魅力のひとつである豊かな自然を、子ども達とその保護者が、安全・安心に体感し、郷土愛を育むことができる場所の提供が必要である。</p>
事業目的	<p>・茂木の自然を活用した自然体験活動を通して、子育て支援(野外保育)を実施することで、子ども達と保護者の郷土愛醸成を図る。</p> <p>・茂木町の環境や産業及び野外教育活動への興味が高まるような体験活動の企画を実施することで地域の魅力を発信し、関係人口の創出を図る。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>①<19歳未満の子ども及びその保護者対象とした野外保育・教育活動></p> <p>1. 野外保育活動(森のようちえんあいうえお)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上の幼児のための「あいうえお」: 毎週火曜日から金曜日(9:30~14:00) ・0歳から3歳未満の幼児のための「かきくけこ」: 毎週金曜日または木曜日(10:00~14:00) ・少人数保育(園児15名に対して保育者2~3名) <p>・活動の拠点である広場から出発して山登りや川遊び、近くの農家の畑仕事のお手伝い、広場で大工仕事をして秘密基地づくりなど、活動の内容は、子どもたちのアイデア次第。野外活動における危機管理能力・しなやかな体の育成を図る。</p> <p>2. 親子広場(やっほう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隔週の月曜日 10:00~13:00 ・預かり保育ではなく、親子で一緒に自然の中で過ごしたい人のための活動。 ・焚き火と羽釜で炊いたご飯や持ち寄りのおかずなどでお昼ご飯をとる、パンケーキやサンドイッチをみんなで作る、季節の遊びをするなど、ゆったりと自然に身を任せ、穏やかな自由を大人も子供も享受できる時間を共有する。 ・大人1人での参加や、小学生の参加も受け付ける。 <p>3. 小学生への野外教育活動(はらっぱ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日 9:30~14:30 ・学校に対していろいろな想いを抱えている子どもたちの居場所をつくるための活動。 ・自然の中で、ゆっくり自己実現や想いにつける時間を過ごす。 ・1日どう過ごすかは子ども達が決め、大人は最低限の手助けをする。 <p>上記事業の展開によって、茂木町の豊かな自然の中での子育てに魅力を感じた移住者を呼び込んだ実績がある。上記事業を「JOIN」等の移住定住ポータルサイトや、FaceBookをはじめとしたSNSを通じて情報発信することにより、茂木町のファンを獲得し、更なる関係人口の創出を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 安心して移住・定住のできる「まち」をつくる</p> <p>数値目標: 関係人口数(H30)2,256/年 → (R6)3,250人/年</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業	・茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業	・茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業		・茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業
事業費	500,072	514,806	500,000	1,514,878	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	250,000	250,000	250,000	750,000	
うち県交付金	125,000	125,000	125,000	375,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	250,072	264,806	250,000	764,878	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	250,000	茂木町より
自主財源	250,000	
計	500,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	350,000	175,000	87,500	175,000	事業①の活動に際し、保育スタッフを補助する運営サポーターへの謝金 ※一か月に10-15回程度稼働を依頼している ※1回の活動時間:5-6時間 ※金額: 野外活動や保育のスキルによって、1日1000円-3000円 運営サポーター:保育士や看護師などの資格を有したり、野外保育に関する専門的知識・経験を有する方が対象
消耗品費	130,000	65,000	32,500	65,000	・保育活動用品一式 100,000円 野外活動に際して子ども又は大人が使用するための日用品、衛生用品、文房具、工作材料、工具、広場を整地するための土など ・野外調理器用品一式 10,000円 野外活動に際して子ども又は大人が使用するための調理器具、食材、味噌や梅酒用の保存容器など ・農具一式 10,000円 クワ、カマ、レーキ、熊手等、野外活動に際して子ども又は大人が使用する ・絵本等教材費 10,000円 ※全て事業①の経費
印刷製本費	20,000	10,000	5,000	10,000	・アルバム印刷代 記念品として
計	500,000	250,000	125,000	250,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	ラーメンフェスタ in もてぎ
事業主体の名称	茂木町ラーメンフェスタ実行委員会
代表者の名称	実行委員長 古口 達也
事業主体の所在	茂木町大字茂木155
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: ラーメンのイベントを通じて、中心市街地活性化を図ることを目的とする。 ・設立年月日: 令和4年5月1日 ・構成員等: 茂木町長、商工会会員、観光協会会員 等
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・茂木町は少子高齢化や人口減少が課題となっているため、新規事業によって新しい人の流れを生み出し町外の方へ町の魅力を伝えることで、関係人口の創出や移住者の増加を促進することが必要である。 ・地元住民の交流・憩いの場を設けることで、地域活動の基盤となる地域コミュニティを強め、地域住民が住み続けたいと思えるようなまちづくりを求められている。 ・道の駅もてぎの「ゆず塩ら〜めん」が道一グランプリ殿堂入りをし、全国に茂木町の名を発信する起爆剤となったことから、ラーメンを売り出したまちづくりが有効と考え、「ラーメン屋のない町」としてラーメン屋を誘致。県外・町外から二店舗の誘致に成功。 ・ラーメンが美味しい町としてさらに周知し、いままでのレジャー客のみならず、普段からのグルメ客の獲得が必要である。 ・町にラーメン専門店を誘致し盛り上がっている状況の中、さらなる町おこしを実施し、町内の消費を生み出すことで地域経済の底上げを行う。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「ラーメン」を通じた市街地の賑わいづくり。 ・町の魅力の発信及び新たな観光客の開拓。
事業概要	<p>【関係人口定義及び分類: I-a、I-d】 【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーメンフェスタ in もてぎ 日時: 11月3日(金・祝) ふるさと茂木秋まつりと同時開催 場所: ふみの森もてぎ 出店者: ラーメン店「特級鶏蕎麦 龍介もてぎ」他町内外のラーメン店を誘致予定 <p>インターネット、新聞等への情報掲載やTwitter、LINEなどのSNSでの情報発信、さらには町ホームページなどを活用し、町外からの新規のお客様を増やすことにより、ラーメンフェスタを切り口に本町を知っていただく人を増やしていき、茂木町の関係人口を創出することを図る。さらに、本フェスタをラーメン愛のある参加者と町外ラーメン店の交流の場とすることで、「特級鶏蕎麦 龍介もてぎ」に次ぐラーメン関係者を呼び込み地域活性化を目指す。 ふるさと茂木秋まつり・里山ウォーク・JAイベントと合わせて開催することで、売り上げの相乗効果と茂木町をラーメンの美味しいとして強く印象付けを目指す。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる 数値目標: 今後も町に住み続けたい町民の割合 70%(令和6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ラーメンフェスタ in もてぎ	ラーメンフェスタ in もてぎ	ラーメンフェスタ in もてぎ		ラーメンフェスタ in もてぎ
事業費	3,000,060	2,000,000	2,000,000	7,000,060	2,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	2,000,000	2,000,000	7,000,000	2,000,000
うち県交付金	1,500,000	1,000,000	500,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	60	0	0	60	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
連絡先 FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ラーメンフェスタ in もてぎ	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	2,000,000	茂木町より
計	2,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	200,000	200,000	100,000	0	事務用品、イベント消耗品 等
印刷製本費	400,000	400,000	200,000	0	チラシ、ポスター 等
光熱水費	100,000	100,000	50,000	0	イベント時水道代
業務委託費	200,000	200,000	100,000	0	会場警備、音響設備経営
使用賃借費	200,000	200,000	100,000	0	会場設営用備品、会場使用料 等
備品購入費	300,000	300,000	150,000	0	交通整理用ステ看 等
広告費	400,000	400,000	200,000	0	新聞折り込み 等
報償費	200,000	200,000	100,000	0	出演者謝金、駐車場・控室等提供者謝礼金 等
		0	0	0	
		0	0	0	
計	2,000,000	2,000,000	1,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	もてぎ里山ウォーク大会開催事業
事業主体の名称	もてぎ里山ウォーク大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 古口 達也
事業主体の所在	321-3531 栃木県芳賀郡茂木町大字茂木151
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「もてぎ里山ウォーク大会」を開催し、町内外から多くの参加者に茂木町の豊かな自然の中を歩いてもらうことにより、茂木町の魅力をPRするとともにさらなる地域活性化を図る。</p> <p>・設立年月日:平成24年4月16日</p> <p>・構成員等:茂木町長、議長、スポーツ推進委員、地域公民館連絡協議会会長、商工会会長、旅料飲組合長等 事務局職員含め33名 ※事務局は商工会内にある</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	茂木町は美しい棚田等を有し、豊かな自然と地域資源に恵まれた地域である。そこで、その素晴らしさを体験できる機会を増やし町の魅力を発信していくべく、平成24年度から、観光PRを兼ねた「里山ウォーク」を実施してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動が制限され、大会も令和2年、令和3年は中止となってしまった。また、茂木町は中山間地域ということもあり、高齢者の外出機会減少が顕著になっており心身両面に影響している
事業目的	<p>・新たな観光資源の魅力の創出</p> <p>・継続的な観光客の確保</p> <p>・町民の健康増進</p>
事業概要	<p>【関係人口定義及び分類: I-d】</p> <p>【令和5年度】</p> <p><開催日時・会場></p> <p>・11月3日(並松運動公園スタート/ゴール地点) ・募集定員 1,500人程度</p> <p>・主コースを観光資源としてPRしている「花の山」を利用した茂木南部に位置する逆川地区へ設定する。</p> <p><観光(茂木町の魅力)PR></p> <p>・茂木町で観光資源としてPRしている「花の山」の一部をコースとして利用することや、コース沿線の文化財公開を同時開催することにより、町内外の参加者に茂木町の魅力をより深く知る機会を創出し、本イベントのだけでなく様々な機会でも茂木町を楽しんでもらえるよう魅力の発信を行う</p> <p>・各コースに隣接する公民館を地元住民の協力を得て休憩所として開放する</p> <p>・ゴール地点に地元産の野菜や果物、加工品の販売ブースを設置する、また、協賛企業のPRブースも設置し地元企業のPRも行う</p> <p><情報発信></p> <p>・同日に開催するJAまつりとうまいもの市と連動させ「農」「食」「健康」を一体的にアピールする</p> <p>・ポスターは、県内だけでなく、茨城県隣接市町の大型店舗などで掲示する。また、町のホームページ、もてぎマスコットキャラクターのSNSサイトで新たな参加者を募る。</p> <p>・茂木テレビや区長文書等を活用し、気軽に参加できる健康増進イベントである旨を町民へ呼びかけ、参加を促す。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる</p> <p>数値目標:観光入込客数(H30)3,175,472人/年 →(R6)3,500,000人/年</p> <p>基本目標:安心して移住・定住のできる「まち」をつくる</p> <p>数値目標:関係人口数(H30)2,256/年 →(R6)3,250人/年</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	もてぎ里山ウォーク大会の開催	もてぎ里山ウォーク大会の開催	もてぎ里山ウォーク大会の開催		もてぎ里山ウォーク大会の開催
事業費	3,500,000	3,500,000	3,500,000	10,500,000	3,500,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,350,000	1,500,000	1,350,000	4,200,000	1,350,000
うち県交付金	675,000	750,000	675,000	2,100,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,150,000	2,000,000	2,150,000	6,300,000	2,150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	もてぎ里山ウォーク大会開催事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	1,500,000	茂木町より
自主財源	2,000,000	(1,500円×1,300人) + (500円×100人)
計	3,500,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
通信費	50,000	0	0	50,000	郵便代、宅配便代等
手数料	40,000	0	0	40,000	振込手数料
消耗品	665,000	330,000	165,000	645,000	案内看板、事務用品、休憩所消耗品、消毒衛生用品
保険料	80,000	40,000	20,000	40,000	傷害保険
食糧費	160,000	0	0	160,000	スタッフ当日昼食代
報償費	795,000	300,000	150,000	495,000	参加賞、協賛謝礼等
旅費	10,000	0	0	10,000	大会PR旅費(駐車場代)
印刷製本費	600,000	280,000	140,000	320,000	申込書、ポスター、パンフレット、ゼッケン
使用料	600,000	300,000	150,000	300,000	仮設トイレ、協力公民館使用料
委託料	500,000	250,000	125,000	250,000	当日コース警備、コース整備
計	3,500,000	1,500,000	750,000	2,310,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合